

シンポジウム  
スマート水産業と衛星利用  
パネルディスカッション『データ利用の定着とデータ流通基盤』

# スマート水産業に向けた 衛星ソリューションサービスのご紹介

2022年12月19日（オンライン開催）

ソリューション事業第一部  
事業開拓課 荒井頼子



## リモートセンシング事業の中核機関として

45年にわたり、国内外の地球観測衛星で取得する観測データについて、受信、処理、解析を実施し、広く利用者に提供する業務として宇宙航空研究開発機構（JAXA）からの委託などを中心に着実に遂行してきました。また、リモートセンシング技術に関する調査や研究開発を関係機関の委託やRESTEC独自で実施し、その成果の普及に努めています。

**名称：一般財団法人 リモート・センシング技術センター**

[英語名：Remote Sensing Technology Center of Japan (RESTEC)]

**設立：1975年8月1日**

**組織形態：一般財団法人**

(設立時は、財団法人として設立。2011年8月に一般財団法人に移行)

**基本財産：¥250,000,000**

**従業員数：166名(2022年6月1日現在)**

**本社：〒105-0001 東京都虎ノ門3-17-1 東急REIT虎ノ門ビル3F**

**URL：<https://www.restec.or.jp/>**

# 近年の海洋情報サービス

## ■ 漁業向けのサービスが増加

- ・ サービス提供企業様は、各社特色を生かしたサービスを展開
- ・ ご利用者様は、個別のニーズに対応したサービスを選択

## ■ 遠洋から養殖まで幅広く

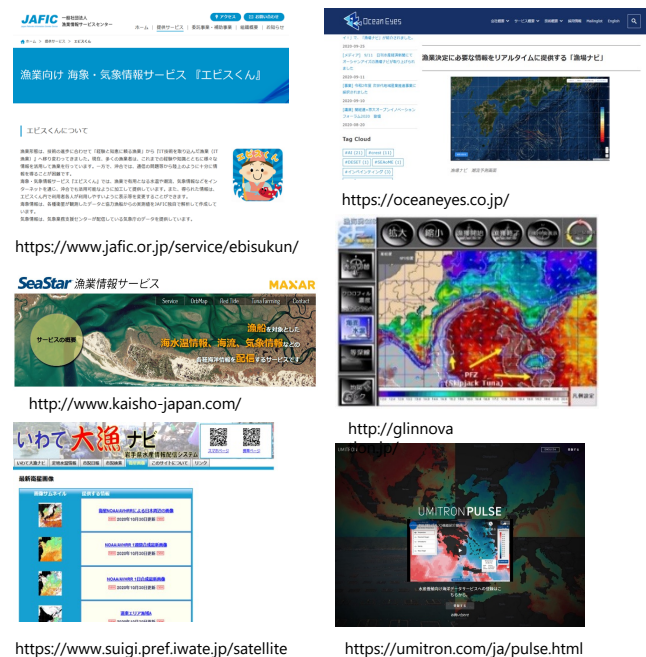
- ・ 漁場推定による燃料代削減の効果
- ・ 水温変動が養殖に与えるダメージに対応する判断材料

## ■ SDG's 持続可能な水産業

- ・ IT化など魅力ある水産業への取り組み
- ・ 効率的だけではなく、海の資源管理への意識向上

### <データ利用の定着の課題点>

衛星データの導入、利用の継続に壁がある。  
入手方法、使い方、費用対効果 等。



漁業向けの海洋情報サービス 例

# スマート水産業向けのソリューションサービス提供について

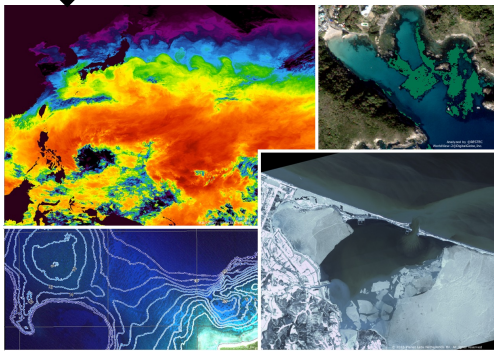


## <RESTECの役割>

衛星データを手入



衛星データを  
海洋情報に変える



## <情報の流れ>



漁業者



スマート水産アプリ



海況解析

個別ニーズに対応したサービス



海況情報サービス提供企業及び機関



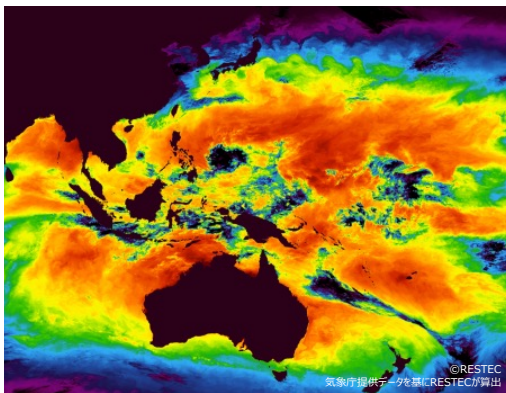
モデル入力値

人工衛星による海面水温データ  
沿岸環境情報サービス  
衛星画像推定水深



衛星データによる情報の流れ

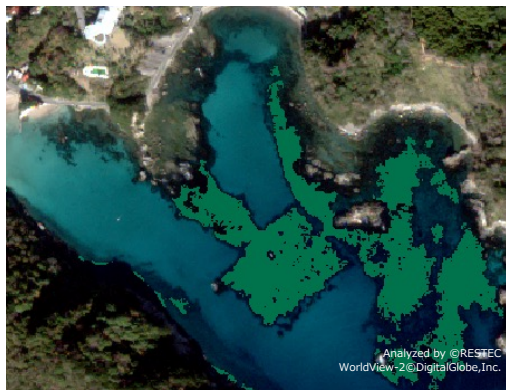
# スマート水産業に向けたソリューションサービス製品について



## 人工衛星による海面水温データ

中西部太平洋・インド洋を含む海域の海面水温分布データを1時間に1回提供します。気象庁の気象衛星ひまわり画像から独自のアルゴリズムで算出しています。

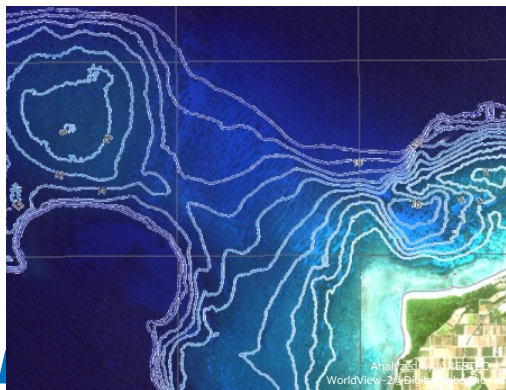
海況把握やモデル計算などの入力データとしてお勧めしています。お試し利用も可能です。ご提供の頻度やデータ仕様などのご相談を承ります。



## 沿岸環境情報サービス

藻場・干潟の分布図を、1画素あたり2~8mサイズの水平分布情報として作成します。現地調査と組み合わせた解析や簡易手法による広域調査など、用途に合わせたサービスをご提供します。

藻場におけるブルーカーボンによるCO2削減効果が、地球温暖化対策の新しい可能性として注目されています。環境の変化に敏感な沿岸域の定期的なモニタリングや、港湾・洋上発電など沿岸開発に伴う環境影響保全に貢献します。



## 衛星画像推定水深

人工衛星画像から浅海域の水深データを作成します。水深値は連続した2m格子毎に算出し、ご希望のフォーマットでご提供します。水深25m程度までの海底地形図としてご利用できます。

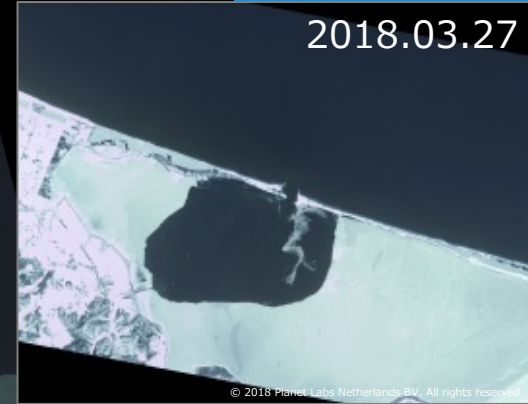
海外では海図の参考データとして利用されています。船舶観測では難しい浅瀬やスクリーニング調査に有効なデータです。



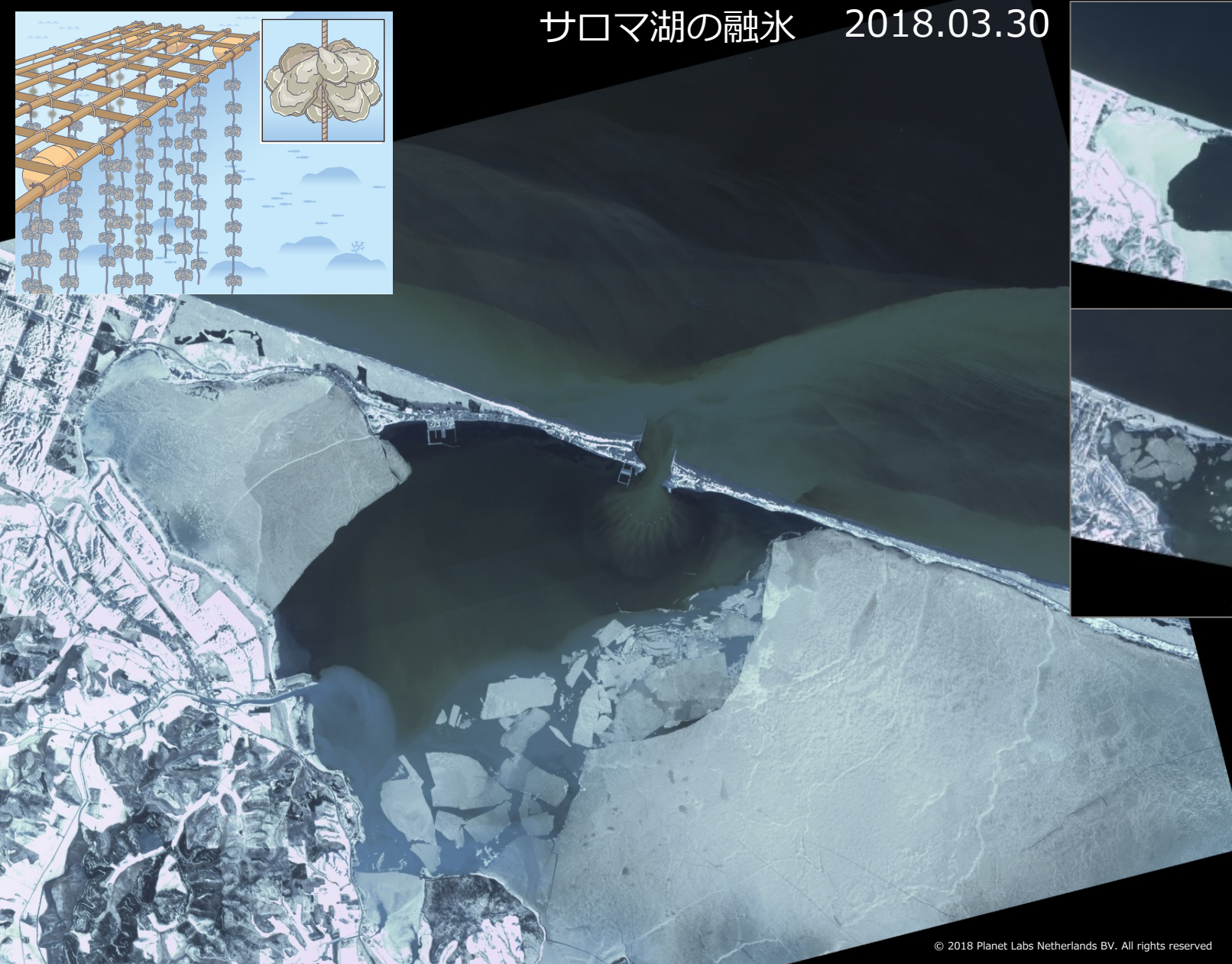
# 今後の展望 -観測頻度の向上-

サロマ湖の融氷 2018.03.30

2018.03.27

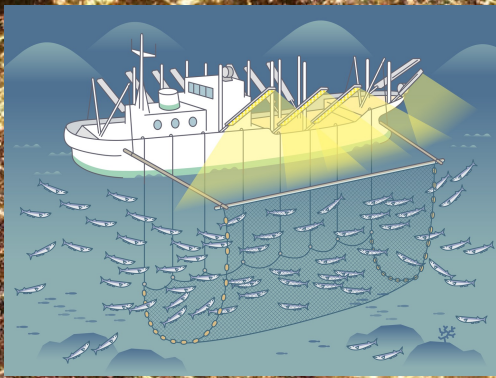


2018.04.02





# 今後の展望 -センサ性能の向上-





# 今後の展望 -スマート水産業に向けた情報提供の拡充-

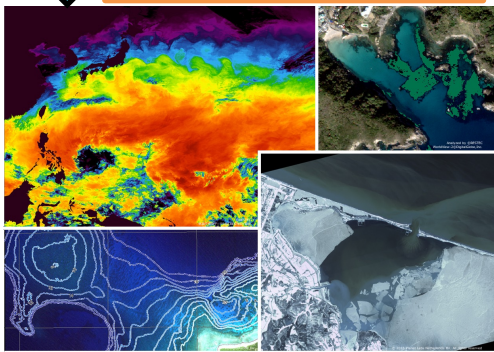


## データ利用の定着とデータ流通基盤

### 多種類データの利用



変化に合わせ、  
提供情報を拡充



### <情報の流れ>

要望



水産業サプライチェーン



スマート水産アプリ



海況解析



モデル入力値

個別ニーズに対応したサービス

要望



海況情報サービス提供企業及び機関

人工衛星による海面水温データ  
沿岸環境情報サービス  
衛星画像推定水深  
海上風速等……



衛星データによる情報の流れ



ユーザニーズ